

深谷市指定文化財

尾高惇忠生家



尾高惇忠生家

埼玉県深谷市下手計 236

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
- 問合せ先 渋沢栄一記念館 電話 /048-587-1100

編集・発行 / 渋沢栄一記念館
令和3年3月発行





おだかじゅんちゅう
尾高惇忠は天保元（1830）年下手
計村に生まれました。通称新五郎、諱
は惇忠、藍香と号しました。

渋沢栄一の従兄にあたり、栄一は少
年時代からこの藍香のもとに通い、論
語をはじめ多くの学問を藍香に師事し
たことが知られています。後世、“藍香
ありてこそ栄一あり”と称えられた人物
で、知行合一の水戸学に精通し、栄一の人生に大きな影響を与
ました。

明治時代を迎えると、惇忠は富岡製糸場初代場長や第一国立銀行の盛岡支店長や仙台支店長などを務め、幅広く活躍しました。

この尾高惇忠生家は江戸時代後期に惇忠の曾祖父磯五郎が建
たものと伝わっています。「油屋」の屋号で呼ばれ、この地方の商
家建物の趣を残す貴重な建造物です。この家で栄一の妻となった千
代、見立養子となった平九郎、惇忠の娘で富岡製糸場伝習工女第
一号となるゆうが育ちました。また、若き日に惇忠や栄一らが尊王
攘夷思想に共鳴し、高崎城乗っ取り・横浜外国商館焼き討ちの謀
議をなしたものこの家の2階と伝わります。

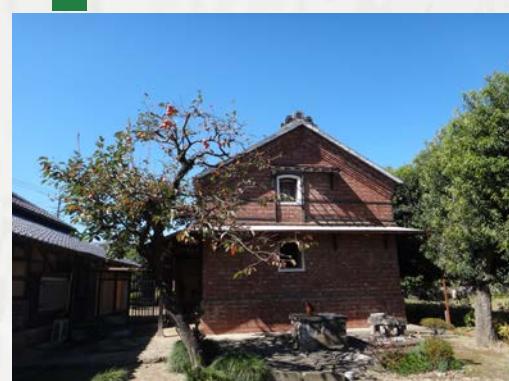
内庭の煉瓦倉庫は、「上敷免製」の刻印を残す煉瓦が周囲に残
ることから日本煉瓦製造株式会社製の煉瓦で建てられたものと思
われます。

平成22（2010）年に深谷市指定文化財（史跡）となりました。



密議をしたと伝わる2階の部屋
(非公開)

煉瓦造土蔵



煉瓦土蔵の周辺で発見された煉
瓦。「上敷免製」の刻印があり、
日本煉瓦製造株式会社の煉瓦であ
ることがわかります。



尾高惇忠が初代場長を務めた
官営富岡製糸場（画像提供 富岡市）

富岡製糸場図大絵馬

菲塚直次郎が深谷市田谷にある永明稻荷神社に奉納した絵馬
(深谷市指定文化財)



鹿島神社と藍香尾高翁頌徳碑

鹿島神社は旧下手計村の鎮守です。神社の
境内には、尾高惇忠の功績を称えた藍香尾
高翁頌徳碑（深谷市指定文化財）がありま
す。題額は徳川慶喜の揮毫。

